



# 士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

R I 第 2500 地区

Vol.008

No.2440

2013-2014年度国際ロータリーのテーマ



2013-14年度RI会長 ロン D. バートン

2013-2014年度士別ロータリーのテーマ  
「出来ることを 出来るときに 出来ることから」

士別市／世界のめん羊館



例会場／士別グランドホテル

例会日／毎週月曜日 12：10～13：10

事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234

会長／千葉 繁 夫

副会長／阿 達 勇

幹事／奈良 康 弘

## 第 2522 回例会 2013年8月26日 (月)

### 本日のプログラム：夜間例会

#### ● 前回 (8月19日、月曜日) の記録：普通例会・会員卓話

司 会／近井孝義 会場監督

斉 唱／奉仕の理想

本日の出席／会員 48 名中 出席者 40 名 出席率 83.33%

本日の欠席／今井 裕、近藤峯世、坂野虎溪、汐川泰晴、細川博司、深尾幸夫、國森和磨、藤吉敏博

ビジター・ゲスト／

ニコニコBOX／

累計 82,000 円

#### ● 例会予定

##### 8 月例会日(会員増強及び拡大月間)

- 8月 5日 (月) ガバナー公式訪問例会
- 8月12日 (月) 普通例会・理事会
- 8月19日 (月) 普通例会
- 8月26日 (月) 夜間例会

##### 9 月例会日(新世代のための月間)

- 9月 2日 (月) 普通例会・理事会
- 9月 9日 (月) 普通例会
- 9月16日 (月) 休会 (法定休日：敬老の日)
- 9月23日 (月) 休会 (法定休日：秋分の日)
- 9月30日 (月) 夜間例会

## ■会務報告 千葉繁夫 会長

●雨で心配されていた、天塩川まつりの花火大会は、午後から天候が持ち直し最高の条件で無事に開催されました。人出も多く見られ賑わっていました。しかし、まつりを締めくくる、天塩川パレードは天は味方してくれず、やむなく中止となりました。37年ぶりに新調した川舟みこしが披露される予定でもあっただけに残念です。関係者並びに実行委員会の皆さん大変お疲れ様でした。

●夏に体重が増加する人は「栄養失調太り」の可能性があるとの見出しに興味があったのでネットを開いてみると、夏の季節に太る人と云うのは栄養失調に陥っている可能性も考えられるとのことで、夏場は冷し中華やそうめんなどの麺類やサンドイッチ類、アイスクリームなどの冷たいものと、軽い食べ応えの割にカロリーが高い食べ物を選びがちですし、夏は不思議と取りたくなるのも事実です。内臓が冷えると消化能力が衰え、消化しやすい炭水化物を体が欲するからだそうです。予防はアルコールや甘い物、油物という「3つの“あ”」の誘惑に勝つことが栄養失調太り対策にとって重要だとのことです。

## ■幹事報告 奈良康弘 幹事

①公益財団法人米山梅吉記念館より館報22号、下川RC様よりクラブ会報、国際ロータリーよりCDデータにて公式名簿が届いております。回覧致しますので、御一読下さい。

②先週理事会におきまして、釧路で開催されます地区大会の日程を決定し、会員皆様へ出欠の案内をさせて頂きました。釧路での開催のため、出発時間が早朝となっておりますが何卒ご理解下さい。尚、費用に関しましては、クラブより5千円の助成を行います。本日、第1回目の出欠締め切り日となっております。出欠の連絡は幹事宛に宜しくお願い致します。1回目の出欠は締め切り致しますが、まだ変更が出来ますので、都合が付いた方は幹事までご連絡をお願い致します。多くの会員様の出席を宜しくお願い致します。

## ■寄贈

当クラブのゴルフ同好会並びにパークゴルフ同好会へクラブより寄贈(助成金)が送られました。

## ■プログラム委員会 北村浩史 委員長

本日の卓話は新入会員卓話で田中道也会員をお願い致します。9月2日は雑誌・広報委員会、ロータリー情報委員会、職業奉仕委員会の3委

員会より委員会活動計画の発表をお願い致します。

## ◆会員卓話 田中道也 会員

本日の会員卓話は新入会員という事で、私がやらせて頂くことになりました。お題は何でもいいという事でいろいろ考えましたが、ご存知の方もおられるかと思いますが、当社の田中印刷の事についてと僕自身の事も少々おり混ぜながら、お話をさせていただきたいと思います。当社は、明治43年(1910年)の10月31日に創業しまして、昭和33年に株式会社になりました。それから昭和61年10月まで、僕の叔父であります田中義人が社長を務め、そのあとは僕の父が社長を務め、そのあとは僕が引き継ぎ、現在に至っております。最初は、活字を1文字ずつ拾って組んで印刷していたのですが、昭和30年代にタイプを導入してからはタイプが主流になりました。その後、昭和50年代からは写真植字機といって写真などに使う印画紙に文字を焼きつけたものを使って印刷しておりました。その頃位からは活字も殆んど使わなくなりまして、タイプと写真植字機を並行して平成7、8年頃位までメインで使っていましたが、時代とともに段々パソコンが普及しだしまして、今では印刷する手前までの作業の殆んどの部分をパソコンで出来るような時代に今は変わってしまいました。そんな会社の歴史と自分の事を考えながら、今、思い返しますと僕は小さい頃から機械が好きで、会社の工場の機械を眺めるのが好きで工場の中をちょろちょろしたりして、よく父に怒られたりしていました。けれども、そんな機械好きもあってか、高校生の時には友達の影響もありましたけれども、パソコンに興味を持つようになったので、自分で中古のパソコンを購入して使うようになったりしまして、もっと勉強したいと思い情報処理の学校に行きました。その時は学校で学んだことやパソコンの知識などこの仕事にはあまり関係ないだろうな、役に立たないだろうなと思っていたのですが、今のこのパソコンがこれだけ普及している時代になると案外無駄ではなかったなと思ったりしました。私がこちらの士別に帰って来たのが平成元年7月。それからもう24年が経ちました。会社全体の歴史で見ますと僕がいるのはほんの四半世紀にしかありませんが、これからどれだけ続けていけるかわかりませんが、頑張りたいと思っています。これからもよろしく願いたします。